

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		住宅改修給付					所管	福祉部 高齢福祉課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	202	計画事業名	高齢者等の居住の安定確保			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 43 多様なニーズに対応した良好な住環境の整備					[事業開始] 平成12年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		台東区高齢者住宅改修給付事業実施要綱						
	事業対象	直接の対象 : 日常生活の動作の困難等を改善するため、住宅改修を必要とする高齢者 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	高齢者の居住する住宅を改修することで、転倒防止、動作の容易性の確保、介護の軽減等を図り、高齢者の福祉を増進する。									
	事業内容 [H30年度]	身体機能の低下により日常生活の動作に困難がある高齢者が、住み慣れた住居で生活し続けられるよう、以下の工事費用の一部を助成する。 1. 住宅改修予防給付: 手すりの取付、段差解消、便器の洋式化等 2. 住宅改修設備給付: 浴槽の取替え、流し台・洗面台の取替え、便器の洋式化 3. 住宅改修新設給付: 浴槽の新設、流し台・洗面台の新設、洋式便器の新設、階段昇降機の新設、1階床の新設 ※給付種別に応じて、要介護2以上等の要件あり、自己負担1割(限度額有り) ※工事前に申請要									
	委託の有無	なし	委託内容		なし						
補助金の有無	都										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	住宅改修給付件数	件	107	172	95	62	140	44.3%		
	成果指標	改修による生活の質向上者数	人	88	100	84	60	115	52.2%		
	決算額 (単位: 千円)				H28年度		H29年度		H30年度		
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)			6,420		10,374		11,461		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			27		28		23		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			18,149		17,695		11,680		
		総経費			24,596		28,097		23,164		
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0		0		0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			9,074		8,847		5,839				
一般財源 (区負担額)			15,522		19,250		17,325				
課題及び今後の進め方	対象要件に要介護認定が関わっていることや介護保険給付との併用が可能であるなど、制度が複雑であるため、今後とも窓口等における適切且つ丁寧な事業案内を実施していく。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	給付件数は減少傾向にあるが、高齢者の在宅生活を支える上で、転倒防止や動作の容易性の確保は重要であり、事業の必要性に変化は無い。								
	効率性	3	利用者の利便性向上のため、介護保険制度の住宅改修給付を併用して、申請する場合は受付窓口を一元化している。								
	手段の適切性	3	適切な工事が行われるよう、対象家屋に訪問し、対象者の身体状況及び工事対象箇所の事前確認を行っている。また、工事後も、完了確認を行い、適切な事業実施に努めている。								
目的達成度	2	申請に応じて、住み慣れた自宅での生活が継続できるよう高齢者が居住する住宅を改修し、住環境の向上が図られている。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
給付件数は減少傾向にあるが、相談者に案内マニュアルを活用し、分かり易く制度利用のサポートを行っている。今後も、適切な窓口対応を実施し、地域包括支援センター等の関係機関と連携し、制度の普及啓発を図り、日常生活に困難を抱える高齢者が住み慣れた自宅で生活できるよう住環境の改修給付を継続していく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了			